

# ANA機長のJALの Facebookへの書き込み

札幌市医師会  
新札幌パウロ病院

## 高階 俊光

2014（平成26）年6月7日、現役のANA機長がJALのFacebookに「倒産して税金でやっている会社…調子乗ってんじゃねえよ！」との書き込みが顧客からの指摘で発覚し、ただちに書き込みが削除されました。これは、平成22年にJALが経営破綻したことなどを誹謗中傷する内容で、ANAは「個人的な書き込みであるが、不愉快を与える内容で問題だ」などとして詳しく調査するとなりました。

確かJALは平成22年1月に会社更生法の適用を申請し、翌月一部上場が廃止されました。3,500億円の公的資金が投じられ、会社更生法の適用で、金融機関が5,215億円の債権を放棄し、平成24年9月に再上場を果たしました。その間、株主の持っていた株券の権利が消滅し、何十万の人が泣き寝入りをしました。

私は本州にいるめんこい子供の帰省用になけなしのお金をはたいてJALとANAの株券を持っていましたが、JALの経営破綻によりJALの株券は紙くずとなってしまいました。当時JALの株価はANAの約20倍もしました。1,000円ポッキリで2週間に1回の仕事帰りの焼き鳥屋通いを人生の大きな楽しみにしていた小市民にとって、今のJALの株券は高値の花で、もう入手はできません。私も可愛い子供用の株券を略奪されたその一人ですから、今回のことでいろいろと考えさせられました。そしてそれぞれの意見があるようです。

真面目にやって倒産したのではなく、やり放題の結果の倒産で、資本主義のルールだから仕方ないのに、それを国からの援助という救済で再建できたと言う人もいます。そう言いたくなる気持ちはよく分かります。ANAの機長の書き込みは確かに不愉快な内容ですが、言っている内容は何よりも正論で、元株主からはもっとやってくださいという声があるのも事実です。さらに倒産した会社が自分のところよりも待遇が良いということに対しての不満もあり、愛社精神を超えてジェラシーを多少含んでいるような気がします。これに対して、確かに機長の言った内容は事実ですが、いい歳をした大人が正論なら何を言ってもいいわけじゃないでしょという意見もあります。負け惜しみに聞こえなくもないです。

この書き込みは世間を騒がせ、ANAや上司に迷惑をかけたことは間違いありません。当の機長は本音を言ってしまったのですが、確かにその言葉の内容

はあまり良くなく不愉快な内容です。しかし言った本人はまさか身分がバレるとは思っていなかったでしょうし、そしてちょっとした書き込みがこんな大事になるとは思ってもみなかったことでしょう。ですから機長にしたらどこかANA（穴）に入って雲隠れしたい気持ちではないのでしょうか。しかしANAの大部分、否、全社員は「機長！ よく代弁してくれた」と心の中で小躍りしているかもしれません。その後、ANAは機長を“嚴重”注意し、機長は社内調査に対し「不適切だった」と述べ、反省の態度をとっているとのこと。

一方JALにしても事実を言われているのだから、誹謗中傷の内容でもなかなか反論ができなく、喧嘩両成敗ではないですが、正論を言った機長も事実を指摘されたJALも、お互いそれぞれの理由や事情で時が過ぎて忘れ葬られることを待っているのではないのでしょうか。この報道は1回限りで、その後見られませんでしたし、新聞記事になることもありませんでした。しかしJALはいつか再び同じように忘れていた過去を蒸し返されるかもしれない、泥臭いジャブが飛んでくるかもしれないと戦々恐々とし、今後もANAの動向はANAどれない（侮れない）と思っているはず。

ともあれ、大局的に見ると、JALの再建は少なくとも日本の元気につながっていくと思います。株券で打撃を受けた私も、JALには頑張ってもらいたいです。クソッ！

現在ではJALとANAの株価はANAの企業努力でほぼ同様のようで、ANAの機長の気持ちは多少収まっているのではないのでしょうか。もちろん私も収まっています。

